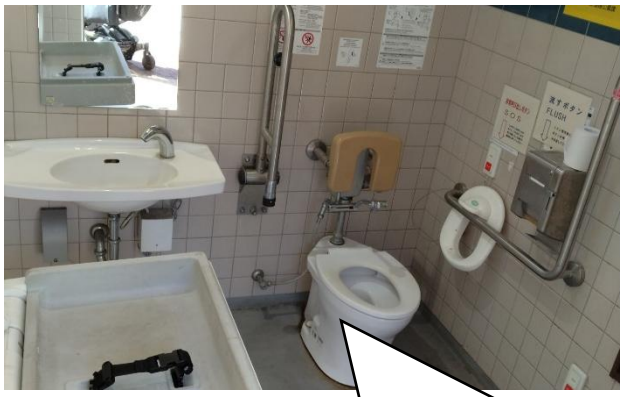
東京さくらトラム（都電荒川線）

三ノ輪橋
停留所前 誰でもトイレ をご紹介します。



誰でもトイレ（男子用）内部です。仕様は女子用誰でもトイレと同じです。

台東区の日比谷線が走る、上野、御徒町、入谷、そして三ノ輪駅。それ以外もう一つの「三ノ輪」と付く駅と言えば、日本で唯一都電が走る荒川線。始発の三ノ輪橋駅。ご存知とは思いますが、所在地は荒川区南千住。その都電の駅の停留所前に誰でもトイレができました。外観は茶塗りの建物で、男性トイレには車いすのまま入れるものと（女性供用）、手擦り付の小便トイレがあります。多少レトロ調な木造りですが、車いす用の方は、ベビーシートとオストメイトが完備されています。

オストメイトです。便器と一体型となっています。

都電荒川線が通る線路沿いに三ノ輪商店街通称「ジョイフル三ノ輪」があります。アーケードで覆われていて、多種多様なお店が軒を連ねています。詳しくはジョイフル三ノ輪で検索してみてください。又は直接行って見るのも良いと思います。

今回出した荒川線三ノ輪駅の乗り口に入る方の通り沿いに、昔の都電や都バスの思い出館があります。建物自体狭く、車いす 1 台入れるぐらいです。

もう一つ三ノ輪と言えば、野村胡堂（のむらこどう）原作の時代劇「銭形平次」を思い出します。私が観ていた銭形平次（ぜにがたへいじ）は昭和 41 年～59 年までテレビドラマで 888 回放送されて、ギネス記録に載った、主役の平次は大川橋蔵（おおかわはしぞう）。岡っ引きの平次にライバルの同じ岡っ引きのレギュラーとして出てくる三ノ輪の万七（みのわのまんしち）です。遠藤太津郎（えんどうたつお）の大柄で、声が大きい万七はいつも銭形平次に手柄を取られてしまいます。しかし、たまに平次が「三ノ輪の、これはおめいの手柄だぜ」というと、感涙にむせびながら、「済まねえ、